



企画広報課 ☎66•1145

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」

私たち蒲郡ぞう親子うたう会みかんは、小学生から熟年までの幅広い年齢層で、楽しく歌っています。会が発足して今年で15周年になります。市民文化祭での発表や東三河うたう仲間フェスティバル、歌声喫茶の開催、老人ホームや介護施設の慰問など、地域に根ざした活動を中心に行なってきました。

合唱構成
「ぞうれっしゃがやってきた」
とき **3月21日(祝)**
開演 午後1時30分
開場 午後1時
ところ 市民会館 中ホール
内容
・合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」全曲演奏
・原作者 小出隆司先生講演
・どんぐり鉄道のぞうれっしゃ号(正午～午後1時)
・和太鼓「海燕」演奏
入場料 大人 1,000円
3歳～中学生・障がい者 500円
問合せ gamagori_zou_mikan@yahoo.co.jp



全国の仲間と「ぞうれっしゃ」を歌おうというプロジェクトも立ちあがっています！皆さんも参加しませんか？

した。今年度は、私たちの会の名前の由来でもある合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」の全曲演奏を企画しました。「ぞうれっしゃ」は、実際にあった出来事です。太平洋戦争末期に、全国の動物園の動物が殺されました。しかし、名古屋市の東山動物園では、園長さんたちの必死の努力で2頭の象が生き残りました。戦後それを知った子どもたちの「本物の象が見たい」という願いが、大人たちの心も動かし全国から名古屋に向けて「象列車」が走りました。

この事実をもとに絵本ができた合唱構成もできました。3月21日の発表では、原作者の小出隆司先生の講演もあります。命の大切さを、現在の平和な日々に感謝の気持ちを込めて歌います。市民のみなさん、ぜひ演奏会にご来場ください。



学芸員 山中 敦子
生命の海科学館
☎66•1717

白銀のメッセージ

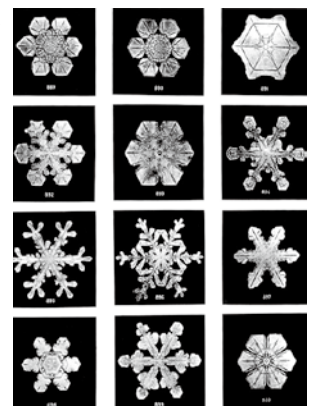
今年、白雪に祝福された幕開けとなりました。雪華と呼ばれる美しい雪の結晶。「雪は天から送られた手紙である」とは、物理学者にして随筆家であった中谷吉郎の言葉です。結晶のさまざまな姿が、

気温や湿度など、雪を生み出した上空の大気の状態を反映していることを指しています。美しい形そのものが暗号であり、科学でそれを読み解けば、結晶が誕生した環境を知ることができるとのことです。

科学の目で読みとけば

意外に思われるかもしれませんが、天然の雪や氷は、実は鉱物の一種です。鉱物の集合体である石は、高温で融けるとマグマになり、冷えると石に戻ります。

地球からの手紙
その日は一時吹雪いたあと、強風に雲がちぎれて青空がのぞき、海と、うっすら雪化粧を施された大地が、陽の光にきらめいていました。石ころの上に雪、雪の下に緑、土、海。ふと気づけば私たちは、自然から送られた無数の手紙に囲まれています。寒さについて引きこもりがちですが、時には手紙を受け取りに、外へ出てみませんか？



観察しようと思ってもすぐに融けてしまい、黒ヤギさんなら読まずに食べた♪状態になってしまふ、天から送られる美しい手紙の数々。
(撮影: Wilson Bentley, 1902)